



コール機能の設定

電話機のウェブユーザーインターフェイスとxml設定ファイルを使用して、通話転送、コールパーク、会議、スピードダイヤルなどの通話機能をカスタマイズすることができます。

- [通話転送の有効化 \(2 ページ\)](#)
- [通話転送 \(3 ページ\)](#)
- [すべての通話転送の機能アクティベーションコードの同期を有効にする \(9 ページ\)](#)
- [会議を有効にする \(11 ページ\)](#)
- [アドホック会議の参加者リストの管理 \(12 ページ\)](#)
- [SIP REC を使用したリモート通話録音の有効化 \(12 ページ\)](#)
- [SIP INFO を使用したリモート通話録音の有効化 \(14 ページ\)](#)
- [不在着信表示を設定する \(16 ページ\)](#)
- [\[応答不可 \(Do Not Disturb\) \] を有効にする \(17 ページ\)](#)
- [電話で Webex 連絡先を有効にする \(18 ページ\)](#)
- [ラインキーで Webex 連絡先を設定する \(19 ページ\)](#)
- [Webex 連絡先のソフトキーを追加する \(20 ページ\)](#)
- [電話で Webex の通話ログを有効にする \(21 ページ\)](#)
- [DND のスター コードを構成する \(22 ページ\)](#)
- [コールセンター エージェントの電話機のセットアップ \(22 ページ\)](#)
- [プレゼンス表示用電話機のセットアップ \(28 ページ\)](#)
- [XMPP 用の DNS SRV の使用 \(32 ページ\)](#)
- [回線ごとのコール アピアランス数の設定 \(32 ページ\)](#)
- [名前の逆引きルックアップを有効にする \(33 ページ\)](#)
- [緊急コール \(35 ページ\)](#)
- [着信 Webex コールのスパムの表示 \(40 ページ\)](#)
- [特定のラインキーにコールパークを追加する \(40 ページ\)](#)
- [プログラム可能なソフトキーの設定 \(41 ページ\)](#)

通話転送の有効化

ユーザに対して、有人通話転送サービスとブライント通話転送サービスを有効にすることができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[通話転送を有効にするためのパラメータ \(2 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2 [補足サービス] で、[通話転送を有効にするためのパラメータ \(2 ページ\)](#) 表で定義したとおりにパラメータを設定します。
 - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

通話転送を有効にするためのパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの電話機タブの下にある補助サービスセクションにおける、通話転送パラメータ有効化の機能と使用方法を定義しています。また、パラメータ

を設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 1: 通話転送を有効にするためのパラメータ

パラメータ	説明
[在籍転送サービス (Attn Transfer Serv)]	<p>在籍通話転送サービス ユーザは、コールに応答してから転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Attn_Transfer_Serv ua="na">可</Attn_Transfer_Serv></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)] を選択して転送サービスを有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>
[ブラインド転送サービス (Blind Transfer Serv)]	<p>ブラインド通話転送サービス ユーザは、発信者と会話せずにコールを転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Blind_Transfer_Serv ua="na">可</Blind_Transfer_Serv></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)] を選択して転送サービスを有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>

通話転送

通話転送は、電話機の Web ページにある [音声 (Voice)] タブと [ユーザー (User)] タブで有効にすることができます。

[音声 (Voice)] タブでの通話転送の有効化

ユーザに対して通話転送を有効にする場合は、このタスクを実行します。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ \(4 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2 補足サービスで、[音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ \(4 ページ\)](#) の表の説明に従ってパラメータを設定します。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

関連トピック

- [DND と通話転送ステータスの同期](#)
- [\[機能キーの同期 \(Feature Key Sync\)\] を有効にする](#)
- [XSI サービスによる通話転送ステータス同期を有効にする](#)

音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの電話機セクションの下にある補助サービスセクションで、音声タブパラメータにおける通話転送の有効化機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話機構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 2: 音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ

パラメータ	説明
[不在転送サービス (Cfwd All Serv)]	<p>すべての通話を転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_All_Serv ua="na">可</Cfwd_All_Serv></pre> • 電話機のウェブページで、[はい (Yes)] を選択してすべての通話を転送します。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
[話中転送サービス (Cfwd Busy Serv)]	<p>回線が混み合っている場合にのみ通話を転送します。 次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_Busy_Serv ua="na">可</Cfwd_Busy_Serv></pre> 電話機のウェブページで、回線が混み合っている状態のときに通話を転送する場合は [はい (Yes)] を選択します。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>
[無応答時転送サービス (Cfwd No Ans Serv)]	<p>回線が応答しない場合にのみ通話を転送します。 次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_No_Ans_Serv ua="na">可</Cfwd_No_Ans_Serv></pre> 電話機のウェブページで、回線が応答しないときに通話を転送する場合は [はい (Yes)] を選択します。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>

[ユーザー (User)]タブでの通話転送の有効化

電話の Web ページから通話転送の設定を変更するには、次のタスクを実行します。

次のいずれかの方法が有効になっている場合、通話転送の設定は電話機とサーバー間で同期されます。

- 機能キー同期 (FKS)
- BroadSoft の拡張サービスインターフェイス (XSI) の同期

ローカルの電話機での通話転送の設定が有効になっていることを確認するには、FKS と XSI を最初に無効にする必要があります。[機能キーの同期 (Feature Key Sync)]を有効にするおよび XSI サービスによる通話転送ステータス同期を有効にするを参照してください。

サポートされているモードでの通話転送設定を有効にする優先順位は、FKS > XSI > Local です。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

[音声 (Voice)] タブで通話転送設定を有効にします。 [\[音声 \(Voice\) \] タブでの通話転送の有効化 \(3 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] を選択します。
- ステップ 2 [通話転送](#) セクションで、 [ユーザタブにおいて通話転送を有効にするパラメータ \(6 ページ\)](#) 表に定義されているとおりにパラメーターを構成します。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

ユーザタブにおいて通話転送を有効にするパラメータ

次の表は、電話機の Web ページの音声 > ユーザ > 通話転送にある機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

パラメータ "Forward Softkey" を除き、次の表の他のパラメータは、FKS および XSI が無効になっている場合にのみ有効になります。

表 3: ユーザタブにおいて通話転送を有効にするパラメータ

パラメータ	説明
Cfwd All	<p>すべての通話を転送します。このパラメータの設定は、Cfwd Busy よりも優先され、[応答しない (Cfwd No)]。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_All ua="rw">不可</Cfwd_All></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)] を選択してすべての通話を転送します。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
[不在転送宛先 (Cfwd All Dest)]	<p>すべてのコールの転送先を指定します。宛先には、英数字の入力、電話番号、または SIP URI を指定できます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_All_Dest ua="rw">DestinationNumber</Cfwd_All_Dest></pre> 電話機の Web ページで、フィールドに通知先番号を入力します。 <p>はいを選択した場合は、パラメータを設定していることを確認してください。</p> <p>デフォルト：空</p>
通話転送ビジー (Cfwd Busy)	<p>回線が混み合っている場合にのみ通話を転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_Busy ua="rw">不可</Cfwd_Busy></pre> 電話機のウェブページで、回線が混み合っている状態のときに通話を転送する場合は [はい (Yes)] を選択します。これを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト：[いいえ (No)]</p>
[話中転送宛先 (Cfwd Busy Dest)]	<p>回線が使用中の場合にコールを転送する通知先を指定します。宛先には、英数字の入力、電話番号、または SIP URI を指定できます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_Busy_Dest ua="rw">DestinationNumber</Cfwd_Busy_Dest></pre> 電話機の Web ページで、フィールドに通知先番号を入力します。 <p>通話転送ビジーには はい を選択した場合は、パラメータを設定していることを確認してください。</p> <p>デフォルト：空</p>

パラメータ	説明
通話転送応答なし (Cfwd No Answer)	<p>コールが応答されない場合にのみ、着信コールを転送します。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_No_Answer ua="rw">不可</Cfwd_No_Answer></pre> 電話機のウェブページで、コールに応答しないときに着信通話を転送する場合は、はいを選択します。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション:[はい (Yes)]と [いいえ (No)] デフォルト:[いいえ (No)]</p>
[無応答時転送宛先 (Cfwd No Ans Dest)]	<p>コールが応答されなかった場合に着信通話を転送する相手先の電話番号を指定します。宛先には、英数字の入力、電話番号、または SIP URI を指定できます。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_No_Answer_Dest ua="rw">DestinationNumber</Cfwd_No_Answer_Dest></pre> 電話機の Web ページで、フィールドに通知先番号を入力します。 <p>通話転送応答なしにははいを選択した場合は、パラメータを設定していることを確認してください。 デフォルト：空</p>
[無応答時転送遅延 (Cfwd No Ans Delay)]	<p>応答がない場合のシナリオの応答遅延時間 (秒単位) を割り当てます。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Cfwd_No_Answer_Delay ua="rw">20</Cfwd_No_Answer_Delay></pre> 電話機の Web ページで、フィールドに遅延時間を入力します。 <p>デフォルト：20</p>

パラメータ	説明
Forward Softkey	<p>ユーザーが専用ソフトキーでセットアップできる通話転送サービスの範囲を制御します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての通話転送 (All Cfwd) : ユーザーが転送ソフトキーを押して、すべての通話転送サービス (不在転送、話中転送、応答なし通話転送) をセットアップできるようにします。 この設定では、ソフトキーの名前は転送 (アクティブ化用)、転送解除 (Clr fwd) (非アクティブ化用) です。 不在転送のみ (Only the Cfw All) : ユーザーがソフトキーすべて転送を押して、不在転送サービスを直接セットアップできるようにします。 ユーザーは、[設定 (Settings)] > [ユーザー設定 (User preferences)] > [通話設定 (Call preferences)] > [通話転送 (Call forwarding)] > [通話転送設定 (Call forward settings)]画面からすべての通話転送サービスを引き続きセットアップできます。 この設定では、ソフトキーの名前はすべて転送 (アクティブ化用)、すべて転送解除 (Clr fwd all) (非アクティブ化用) です。 <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Forward_Softkey ua="na">すべて転送</Forward_Softkey></pre> 電話機の Web ページで、ユーザーの通話転送サービスの範囲を決定する値を選択します。 <p>(注) このパラメータは、FKS、XSI、またはFACが有効になっても適用されます。</p> <p>デフォルト : 不在転送 (All Cfwd)</p>

すべての通話転送の機能アクティベーションコードの同期を有効にする

機能アクティベーションコード (FAC) を使用して、すべての通話の転送機能をサーバに同期することができます。この機能を有効にすると、FAC は、招待を使用してサーバーにスターコードと宛先番号を送信します。


始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)]>内線 (n) (Ext(n)) を選択します。

ステップ 2 機能のアクティベーションコード同期フィールドで、[はい(Yes)]を選択してこの機能を有効にします。

この機能を有効にすると、ユーザーは電話機の転送またはすべて転送ソフトキーを押して、通知先の連絡先番号を入力できます。ユーザーが通話ソフトキーを押すと、通話転送設定のステータスを確認するためのボイスメッセージが再生されます。設定が正常に完了すると、通話転送  アイコンが電話画面の上部に表示されます。

ソフトキー名は、パラメータ転送ソフトキーの値に基づいて異なります (ユーザタブにおいて通話転送を有効にするパラメータ (6 ページ) を参照)。

XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。

```
<Feature_Activation_Code_Sync_n_ua="na">可</Feature_Activation_Code_Sync_n_>
```

nは内線番号です。

デフォルト値: なし

有効値: はい、またはいいえ

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

不在転送サービスの機能のアクティベーションコードの設定

不在転送サービスをアクティブ化または非アクティブ化するために使用できるアクティベーションコード (スターコード) を設定できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)]>[地域 (Regional)]を選択します。

ステップ 2 パーティカルサービス アクティベーションコード セクションで、**Cfwd All Deact Code** フィールドが、サーバで定義された値に設定されていることを確認します。デフォルト値は *72 です。

XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。

```
<Cfwd_All_Act_Code ua="na">*72</Cfwd_All_Act_Code>
```

- ステップ3** **パーティカルサービスアクティベーションコード** セクションで、**Cfwd All Deact Code** フィールドが、サーバで定義された値に設定されていることを確認します。デフォルト値は *73 です。

XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。

```
<Cfwd_All_Deact_Code ua="na">*73</Cfwd_All_Deact_Code>
```

- ステップ4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

ユーザーは *72 を宛先番号と組み合わせてダイヤルし、**通話** ソフトキーを押して、不在転送サービスをアクティブにできます。

ユーザーは *73 をダイヤルし、**通話** ソフトキーを押して、不在転送サービスを非アクティブにできます。

会議を有効にする

1つの通話で複数の相手と話し合うことができます。この機能を有効にすると、ユーザは複数のユーザをダイヤルして通話に追加します。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

- ステップ2** [補足サービス (Supplementary Services)] で、[会議サービス (Conference Serv)] パラメータに [はい (Yes)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Conference_Serv ua="na">Yes</Conference_Serv>
```

オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト: はい (Yes)

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

アドホック会議の参加者リストの管理

アドホック会議注に、参加者リストを表示したり、他のユーザを会議に追加したりできます。会議のホストであれば、参加者を削除することもできます。

始める前に

- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。
- [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] セクションで、[会議ブリッジの URL (Conference Bridge URL)] は省略不可であるため何らかの有効な URL を入力してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。ここで、n は内線番号です。

ステップ2 [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] セクションで、[コール情報のサブスクライブ (Callinfo Subscribe)] リストから [はい (Yes)] を選択します。

[はい (Yes)] を選択すると、回線は call-info イベントをサブスクライブし、サーバからコールステータスの変更に関する通知を受信します。これにより、参加者は、現在のコールがアドホック会議中であるかどうかを認識できます。また、参加者のリストが表示されます。

共有回線に [いいえ (No)] を選択すると、ホストと参加者の両方が参加者リストを表示できます。ただし、専用回線の場合は、ホストのみが参加者リストを表示できます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<CallInfo_Subscribe_1_ua="na">Yes</CallInfo_Subscribe_1_>
```

デフォルト: [いいえ (No)]

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

SIP REC を使用したリモート通話録音の有効化

ユーザがアクティブな通話を録音できるように、電話機の通話録音機能を有効にすることができます。サーバで設定された録音モードによって、各電話機での録音ソフトキーの表示を制御します。

表 4: 録音モードと録音ソフトキー

サーバでの録音モード	電話機で利用可能な録音ソフトキー
常に	ソフトキーは使用できません。 ユーザは電話機から録音を制御できません。通話が接続されると自動的に録音が始まります。
常に（一時停止/再開あり）	[録音一時停止（PauseRec）] [録音再開（ResumeRec）] 通話が接続されると自動的に録音が始まり、ユーザは録音を制御できます。
オンデマンド	録音 [録音一時停止（PauseRec）] [録音再開（ResumeRec）] 通話が接続されると自動的に録音が始まりますが、ユーザが [録音（Record）] ソフトキーを押すまで録音は保存されません。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。
オンデマンド（ユーザによる開始）	録音 [録音一時停止（PauseRec）] [録音停止（StopRec）] [録音再開（ResumeRec）] 録音は [録音（Record）] ソフトキーを押した場合にのみ開始されます。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。

録音中は、[コール（Calls）] 画面にさまざまな録音アイコンが表示されます。アイコンは録音状態によって異なります。

表 5: 録音アイコン

アイコン	意味
	録画中。
	録音の一時停止

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ2 [補足サービス (Supplementary Services)] セクションの、[はい (Yes)] または [いいえ (No)] をクリックして **通話録音** パラメータを有効または無効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Serv ua="na">Yes</Call_Recording_Serv>
```

オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト: [いいえ (No)]

ステップ3 (任意) ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

ステップ4 ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

ステップ5 通話録音が必要な**内線(n)**タブをクリックします。

ステップ6 [SIP設定 (SIP Settings)] セクションの [通話録音プロトコル (Call Recording Protocol)] で、通話録音プロトコルとして [SIPREC] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Protocol_3_ ua="na">SIPREC</Call_Recording_Protocol_3_>
```

オプション: SIPREC および SIPINFO

デフォルト: SIPREC

ステップ7 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

SIP INFO を使用したリモート通話録音の有効化

ユーザがアクティブな通話を録音できるように、電話機の通話録音機能を有効にすることができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

録音中は、[コール (Calls)]画面にさまざまな録音アイコンが表示されます。アイコンは録音状態によって異なります。

ユーザは次のソフトキーを押して電話の録音を制御します。

- 録音
- [録音停止 (StopRec)]

録音は[録音 (Record)]ソフトキーを押した場合にのみ開始されます。録音状態が変化するとユーザにメッセージが表示され、録音アイコンが通話画面に表示されます。

電話の録音が開始されると、[録音停止 (StopRec)]ソフトキーが機能できるようになります。ユーザが[録音停止 (StopRec)]ソフトキーを押すと録音が停止します。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。

表 6: 録音アイコン

アイコン	意味
	録音中。

始める前に

- コール制御システムで通話録音を設定する必要があります。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)]>[電話 (Phone)]を選択します。

ステップ 2 [補足サービス (Supplementary Services)]セクションの [通話録音サービス (Call Recording Serv)]パラメータで、[はい (Yes)]または[いいえ (No)]をクリックしてコール録音を有効または無効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Serv ua="na">Yes</Call_Recording_Serv>
```

オプション:[はい (Yes)]と[いいえ (No)]

デフォルト:[いいえ (No)]

ステップ 3 (任意) ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)]セクションで、[接続済みキー リスト (Connected Key List)]および[会議キー リスト (Conferencing Key List)]フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

ステップ4 ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

ステップ5 通話録音が必要な**内線(n)**タブをクリックします。

ステップ6 [SIP 設定 (SIP Settings)] セクションの [通話録音プロトコル (Call Recording Protocol)] パラメータで、通話録音プロトコルとして [SIPINFO] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Protocol_1_ ua="na">SIPINFO</Call_Recording_Protocol_1_>
```

オプション: SIPREC および SIPINFO

デフォルト: SIPREC

ステップ7 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

不在着信表示を設定する

電話機のハンドセットの LED で不在着信アラートを設定できます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] を選択します。

ステップ2 補助サービス セクションの **ハンドセットLEDアラート** パラメーターに対して、**ボイスメール、不在着信**

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Handset_LED_Alert ua="rw">Voicemail, Missed Call</Handset_LED_Alert>
```

オプション: [ボイスメール (Voicemail)] または [ボイスメール、不在着信 (Voicemail, Missed Call)] です。

デフォルト: [ボイスメール (Voicemail)]

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

[応答不可 (Do Not Disturb)] を有効にする

ユーザが応答不可機能をオンまたはオフにできるようにします。発信者は、ユーザが応答不可であることを伝えるメッセージを受信します。ユーザは電話機で [無視 (Ignore)] ソフトキーを押すことで、着信コールを別の宛先に転送できます。

電話機でこの機能が有効になっている場合は、DND ソフトキーを使用してこの機能をオンまたはオフにできます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] を選択します。

ステップ2 補足サービスエリアの DND 設定パラメーターで、[はい (Yes)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<DND_Setting ua="rw">Yes</DND_Setting>
```

オプション:[はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト:[いいえ (No)]

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

回線 (マルチライン電話機) を選択すると、電話画面の上部に応答不可バナーが表示されます。

次のタスク

別の設定を変更して、マルチライン電話機で選択済みまたは未選択の各回線の応答不可 (現在、緑色の点灯) ステータスが適切に表示されることを確認します。 [DND と通話転送ステータスの同期](#) を参照してください。

DND にスター コードを設定した場合、ユーザは各電話機の DND 機能を有効または無効にすることができます。 [DND のスター コードを構成する \(22 ページ\)](#) を参照してください。

関連トピック

[DND と通話転送ステータスの同期](#)

[\[機能キーの同期 \(Feature Key Sync\)\] を有効にする](#)

[XSI サービスを介して DND ステータス同期を有効にする](#)

電話で Webex 連絡先を有効にする

電話機を Webex クラウドに正常にオンボードすると、電話が Webex 連絡先をサポートできるようになります。電話でこの機能を有効にすると、ユーザーは電話ディレクトリリストの下に Webex ディレクトリを表示できます。

[**最大表示レコード (Max Display Records)**] パラメータ値を 100 を超える値に設定すると、クエリ結果には、Webex ディレクトリおよびすべてのディレクトリでの検索用の連絡先は 100 件だけ表示されます。検索結果のカウントが許可された表示レコード値を超えると、「一致するものが多すぎます。検索を絞り込みます」というメッセージがユーザーに表示されます。[**最大表示レコード (Max Display Records)**] パラメータの詳細については、[ディレクトリサービスのパラメータ](#)を参照してください。

始める前に

- 電話は Cisco Webex クラウドに正常にオンボードします。Webex クラウドへの電話機のオンボーディングの詳細については、『[Webex for Cisco BroadWorks Solution Guide](#)』を参照してください。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 Webex セクションで、[ディレクトリの有効化 (Directory Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Webex_Directory_Enable ua="na">Yes</Webex_Directory_Enable>
```

デフォルト値: なし

ステップ 3 [ディレクトリ名 (Directory Name)] フィールドに、Webex ディレクトリの名前を入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Webex_Directory_Name ua="na">wkdir</Webex_Directory_Name>
```

デフォルト値: 空

入力した名前（たとえば、**wcdir**）は、電話機のディレクトリリストの下に **Webex** ディレクトリ名として表示されます。この名前は、電話管理 Web ページまたは構成 XML ファイル文字列から変更できます。必要に応じて、ユーザーは電話からこの名前を変更することもできます。[ディレクトリ名] フィールドが空の場合、デフォルトでは、電話機の **Webex** ディレクトリ名は **Webex ディレクトリ** として表示されます。

電話がクラウドに正常に Cisco Webex にオンボードされていない場合、**Webex** ディレクトリはディレクトリリストの下に表示されません。

ステップ 4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

ラインキーで Webex 連絡先を設定する

ラインキーで Webex 連絡先を構成できます。このラインキーは、Webex ディレクトリへのショートカットになります。

始める前に

- 電話は Cisco Webex クラウドに正常にオンボードします。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。
- 電話管理 Web ページの [ディレクトリの有効化] は [はい] に設定されています。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 ライン キーを選択します。

ステップ 3 内線フィールドを [無効 (Disabled)] に設定します。

ステップ 4 [拡張機能 (Extended Function)] パラメータに、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=shortcut;url=webexdir;nme=cloudplk
```

ここで、`fnc=shortcut` は `function=shortcut` を意味し、`url` はこのラインキーを開くためのメニューであり、`nme` は Webex ディレクトリの名前です。

文字列内で、`nme` が空の場合、または文字列に `nme` を含めない場合、デフォルトでは、ラインキーはディレクトリ名を **Webex ディレクトリ** として表示します。

このパラメータは、設定ファイル(`cfg.xml`)でも設定できます。次の形式で文字列を入力します。

```
<Extended_Function_n_ua="na">fnc=shortcut;url=webexdir;nme=cloudplk</Extended_Function_n_>
```

`n` は内線番号です。

ラインキーにこの機能が設定されています。たとえば、ラインキー番号9に機能を割り当てると、ユーザーは、**cloudplk** が行番号9に Webex ディレクトリへのショートカットとして表示されるのが分かります。この設定済みのラインキーを押すと、ユーザーは [Webex ディレクトリの検索 (Search Webex drectory)] 画面にアクセスして Webex の連絡先を検索できます。

電話管理 Web ページの [ディレクトリの有効化 (Directory Enable)] が [いいえ (No)] に設定されている場合、ラインキーは機能しません。

電話機が Webex クラウドに正常にオンボードされていない場合、回線キーは動作しません。

ステップ5 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

Webex 連絡先のソフトキーを追加する

ソフトキーに Webex 連絡先を設定できます。このソフトキーは、Webex ディレクトリへのショートカットになります。

始める前に

- 電話は Cisco Webex クラウドに正常にオンボードします。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。
- 電話管理 Web ページの [ディレクトリの有効化] は [はい] に設定されています。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ2 [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。

ステップ3 次の形式の文字列を使用して、PSK 1 ~ PSK 16 の PSK フィールドを設定します。

```
fnc=shortcut;url=webexdir;nme=cloudplk
```

このパラメータは、設定ファイル(cfg.xml)でも設定できます。次の形式で文字列を入力します。

```
<PSK_n ua=na>fnc=shortcut;url=webexdir;nme=cloudplk</PSK_n>
```

ソフトキーに機能が設定され、電話機に表示されます。たとえば、**cloudplk** はソフトキーとして表示され、Webex ディレクトリへのショートカットとして機能します。このソフトキーを押すと、ユーザーは **Webex ディレクトリの検索** 画面にアクセスして Webex の連絡先を検索できます。

文字列内で、nme が空の場合、または文字列に nme を含めない場合、デフォルトでは、ソフトキーはディレクトリ名を **Webex ディレクトリ** として表示します。

電話管理 Web ページの [ディレクトリの有効化] が [いいえ] に設定されている場合、ソフトキーは機能しません。

電話機が Cisco Webex クラウドに正常にオンボードされていない場合、ソフトキーは動作しません。

電話で Webex の通話ログを有効にする

これで、電話機が Webex 通話ログをサポートできるようになります。この機能を有効にすると、[最近の通話 (Recents)] 画面の [最近の通話を表示 (Display recents from)] メニューの通話リストに [Webex] オプションが含まれます。次に、ユーザーはオプション Webex を設定して、最近の Webex コールのリストを表示できます。

始める前に

- 電話は Webex クラウドに正常にオンボードします。Webex クラウドへの電話機のオンボーディングの詳細については、『[Webex for Cisco BroadWorks Solution Guide](#)』を参照してください。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。
- [通話ログ] セクションで、[通話ログの有効化] パラメータを有効にし、Webex の最近の通話ログを表示する電話回線を [通話ログ関連回線] から選択します。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [通話ログ] セクションで、[通話ログの有効化] パラメーターを [はい] に設定し、[最近の履歴を表示] パラメーターを **Webex** に設定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<CallLog_Enable ua="na">Yes</CallLog_Enable>  
<Display_Recents_From ua="na">Webex</Display_Recents_From>
```

最近の通話を表示のデフォルト値：電話

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

DND のスターコードを構成する

ユーザがダイヤルするスターコードによって、電話機の応答不可 (DND) 機能をオンまたはオフにするように設定できます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [地域 (Regional)] を選択します。

ステップ 2 特定業種向けサービスアクティベーションコードセクションので、**DND Act**コードパラメータに *78 と入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<DND_Act_Code ua="na">*78</DND_Act_Code>
```

ステップ 3 特定業種向けサービスアクティベーションコードセクションので、**DND Deact**コードパラメータに *79 と入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<DND_Deact_Code ua="na">*79</DND_Deact_Code>
```

ステップ 4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

コールセンターエージェントの電話機のセットアップ

電話機で自動着信呼分配 (ACD) 機能を有効にできます。この電話機は、コールセンターエージェントの電話機として機能し、顧客のコールをトレースする、緊急の場合に任意の顧客のコールをスーパーバイザにエスカレーションする、廃棄コードを使用して連絡先番号を分類する、顧客のコールの詳細を表示するなどのことができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ \(23 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

- BroadSoft サーバで、電話機をコールセンター電話機として設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [音声 (Voice)]> [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。
- ステップ 2** ACD設定セクションで、[コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ \(23 ページ\)](#) 表 で説明するようにフィールドを設定します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。
-

コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの内線 (n) タブにある ACD 設定セクションでのコールセンターオペレーターセットアップパラメータの機能と使用法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 7: コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ

パラメータ	説明
[Broadsoft ACD]	<p>電話機で自動着信呼分配 (ACD) を有効にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Broadsoft_ACD_1_ ua="na">可</Broadsoft_ACD_1_></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブページで、[はい (Yes)] を選択してこの機能を有効にし、[いいえ (No)] を選択して無効にします。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
[通話情報の有効化 (Call Information Enable)]	<p>電話機にコールセンターコールの詳細を表示できるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Call_Information_Enable_1_ua="na">可 </Call_Information_Enable_1_></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)]と[いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>
[ディスプレイコードの有効化 (Disposition Code Enable)]	<p>ユーザがディスプレイコードを追加できるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Disposition_Code_Enable_1_ua="na">可 </Disposition_Code_Enable_1_></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)]と[いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>
[トレースの有効化 (Trace Enable)]	<p>ユーザが最新の着信コールをトレースできるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Trace_Enable_1_ua="na">可</Trace_Enable_1_></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)]と[いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
<p>[緊急エスカレーションの有効化 (Emergency Escalation Enable)]</p>	<p>緊急の場合、ユーザがコールをスーパーバイザにエスカレーションできるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Emergency_Escalation_Enable_1_ ua="na">可 </Emergency_Escalation_Enable_1_></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>
<p>[キューステータス通知の有効化 (Queue Status Notification Enable)]</p>	<p>コールセンターのステータスとエージェントのステータスを表示します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Queue_Status_Notification_Enable_1_ ua="na">可 </Queue_Status_Notification_Enable_1_></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)] デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
サインイン後に自動で使用可能にする	<p>ユーザがコールセンターエージェントとして電話機にサインインすると、エージェントのステータスが自動的に使用されるように設定します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Auto_Available_After_Sign-In_1_ ua="na">可 </Auto_Available_After_Sign-In_1_></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にし、[いいえ (No)]を選択して無効にします。 <p>オプション:[はい (Yes)]と[いいえ (No)] デフォルト:[いいえ (No)]</p>

ACD ステータスの復元

次のいずれかの状況で、電話機が ACD ステータスを自動的に最後のローカル値に設定するようにすることができます。

- 電話機の電源はオンになっています。
- 電話機のステータスが「未登録」または「登録失敗」から「登録済み」ステータスに変更されます。
- 登録通知先サーバの IP アドレスは、フェールオーバーが発生する、フォールバックが行われる、または DNS 応答が変更された場合に変更されます。

始める前に

- BroadSoft サーバで、電話機をコールセンター電話機として設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。電話機 [ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > 内線 (n) (Ext(n)) を選択します。

ステップ 2 [ACD 設定 (ACD Settings)] セクションで、BroadSoft ACD を [はい (Yes)] に設定します。

ステップ 3 [ACD ステータス (ACD Status)] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。

- **[ローカルから同期 (Sync Local)]**: 電話機が起動すると、最後のローカルステータスを ACD として復元するためにこのオプションを選択します。電話機が起動すると、ステータスが「未登録」または「登録失敗」から「登録済み」に変更されます

初期 ACD ステータス status がローカルから同期するように設定されていて、理由コードで最後のローカルステータスが利用できない場合、電話機が起動した後、理由コードは復元されません。

- **サーバから同期**: サーバから ACD 初期ステータスを取得するには、このオプションを選択します。これがデフォルト値です。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<ACD_Status_n_ua="na">Sync From Local</ACD_Status_n_>
```

N = 1 ~ 16

ステップ 4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機でのエージェントステータスの利用できないメニューテキストボックスの表示と非表示

ユーザーが電話機の **[エージェントステータスの設定]** 画面の **[利用不可]** メニューテキストボックスを非表示にしたい場合に制御できます。

始める前に

- BroadSoft サーバで、電話機をコールセンター電話機として設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))]** を選択します。

ステップ 2 電話機の **[ACD 設定]** セクションで、**[使用不可理由コードの有効化]** パラメータを **[いいえ]** に設定して、電話機の **[利用不可]** テキストボックスを非表示にします。

テキストボックスを表示するには、**[はい]** を選択します。これがデフォルト値です。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Unavailable_Reason_Code_Enable_1_ua="na">可</Unavailable_Reason_Code_Enable_1_>
```

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

プレゼンス表示用電話機のセットアップ

電話機のユーザに対して the BroadSoft XMPP ディレクトリを有効にできます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[プレゼンスセットアップのパラメータ \(28 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

- XMPP 用の BroadSoft サーバを設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2 Broadsoft XMPP セクションで、[プレゼンスセットアップのパラメータ \(28 ページ\)](#) の説明にしたがってフィールドを設定します。
 - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

プレゼンスセットアップのパラメータ

次の表では、電話機のウェブインターフェイスの電話タブの下にある theBroadsoft XMPP セクションにおけるプレゼンスパラメータの設定と使用方法を定義します。また、パラメータを設

定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 8: プレゼンスセットアップのパラメータ

パラメータ	説明
[XMPP対応 (XMPP Enable)]	<p>電話機のユーザに対して the BroadSoft XMPP ディレクトリを有効にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="857 682 1328 709"><XMPP_Enable ua="na">可</XMPP_Enable></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してすべての通話を転送します。これを無効にするには、[いいえ (No)]を選択します。 <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>
サーバ (Server)	<p>XMPP サーバの名前; 例えば、xsi.iop1.broadworks.ne</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="857 1165 1437 1222"><XMPP_Server ua="na">xsi.iop1.broadworks.net</XMPP_Server></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブページで、サーバ名を入力します。 <p>デフォルト: 空</p>

パラメータ	説明
ポート	<p>XMPP サーバのサーバ ポート。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XMPP_Port ua="na">5222</XMPP_Port></pre> 電話機のウェブページで、サーバポートを入力します。 <p>有効値：0 ～ 65535 の整数。</p> <p>値が 0 に設定されている場合、電話機は最初にドメイン（サーバまたはユーザー ID で指定）の DNS SRV クエリを送信して、XMPP サーバの IP アドレスを取得します。DNS SRV 応答にレコードがない場合、電話機は同じドメインのレコードルックアップをフォールバックとして送信して IP アドレスを取得します。このシナリオでは、実際のポート番号は 5222 です。</p> <p>（注）サーバとユーザー ID の両方にドメイン名が含まれている場合は、サーバのドメイン名が優先されます。</p> <p>値が 0 に設定されていない場合、電話機はドメイン（サーバまたはユーザー ID で指定）のレコードルックアップを直接送信して、XMPP サーバの IP アドレスを取得します。</p> <p>デフォルト: 5222</p>
ユーザー ID (User ID)	<p>電話機のユーザーの BroadSoft ユーザー ID（例：username1@xdp.broadsoft.com）またはユーザー名。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XMPP_User_ID ua="na">username1</XMPP_User_ID></pre> 電話機のウェブページで、ユーザー ID を入力します。 <p>値にドメイン名が含まれていない場合、電話機は最初に、このパラメータとサーバの値を組み合わせることで新規ユーザー ID を生成します。たとえば、サーバは xsi.iop1.broadworks.net で、ユーザー ID は username1 であり、生成されるユーザー ID は username1@xsi.iop1.broadworks.net です。</p> <p>次に、電話機はドメイン xsi.iop1.broadworks.net のレコードルックアップまたは DNS SRV クエリを送信して、XMPP サーバの IP アドレスを取得します。</p> <p>デフォルト：空</p>

パラメータ	説明
[パスワード (Password)]	<p>ユーザー ID に関連付けられている英数字パスワード。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XMPP_Password ua="na"></XMPP_Password></pre> 電話機のウェブページで、サポートされているパスワードを入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[ログイン状態を隠す (Login Invisible)]	<p>有効な場合、ユーザがサインインしたときに、ユーザのプレゼンス情報が公開されません。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Login_Invisible ua="na">可</Login_Invisible></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。 <p>オプション:[はい (Yes)]と[いいえ (No)]</p> <p>デフォルト：[いいえ (No)]</p>
[再試行の間隔 (Retry Intvl)]	<p>クライアントがサーバから切断された後、ログインせずに再接続できる秒単位の間隔。この間隔を過ぎると、クライアントは再認証する必要があります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Login_Invisible ua="na">可</Login_Invisible></pre> 電話機のウェブページで、[はい (Yes)]を選択してこの機能を有効にします。 <p>オプション:[はい (Yes)]と[いいえ (No)]</p> <p>デフォルト：[いいえ (No)]</p>

XMPP 用の DNS SRV の使用

DNS SRV を使用して BroadSoft XMPP サーバの IP アドレスを取得するために電話機を設定できます。

始める前に

- XMPP 用の BroadSoft サーバを設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2 [BroadSoft XMPP] セクションで、[XMPP 有効 (XMPP Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。
 - ステップ 3 [ポート (Port)] フィールドを [0] に設定します。
 - ステップ 4 [プレゼンスセットアップのパラメータ \(28 ページ\)](#) 表の説明に従って、[サーバ (Server)]、[ユーザ ID (User ID)]、および [パスワード (Password)] のフィールドを設定します。
 - ステップ 5 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

回線ごとのコール アピアランス数の設定

回線で複数のコール アピアランスをサポートしている電話機は、回線に許可されるコール数を指定するように設定することができます。

回線が一度に許可する発信は 1 件のみに制限することができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ2 その他のラインキー設定セクションの回線あたりのコールアピランスパラメーターで、許可する回線ごとの通話の数を指定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Call_Appearances_Per_Line ua="na">2</Call_Appearances_Per_Line>
```

指定できる値の範囲は1から10です。デフォルト値は2です。回線で複数のコールを許可する場合は、2から10の範囲で値を選択します。

(注) 値が1に設定され、内線番号が電話に設定されている場合、ユーザーは次のことができません。

- アクティブコールがある場合に、新しい通話を発信すること。
- アクティブコールがある場合に、転送すること。
- アクティブコールを電話会議にすること。

回線に通話が共有されている場合、ユーザーは新しい通話の発信、通話の転送、電話会議の開始を行うことができません。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

名前の逆引きルックアップを有効にする

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップ検索をします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な BroadSoft (XSI) LDAP ディレクトリ設定または XML ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは1つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは2つ目のコールに一致する名前が検索されます。逆引きルックアップは外部ディレクトリを8秒検索します。8秒後に結果が見つからない場合は、名前の表示はありません。8秒後に結果が見つかった場合、その名前は電話で編集されます。外部ディレクトリ検索の優先順位は **BroadSoft (XSI) > LDAP > XML** です。

優先順位の高い名前の前に優先順位の低い名前を受信した場合、検索では優先順位の低い名前が最初に表示され、優先順位の高い名前が8秒以内に見つかった場合は、優先順位の高い名前に置き換えられます。

BroadSoft (XSI) ディレクトリ内の電話番号一覧ルックアップの優先順位は次のとおりです。

1. 個人電話一覧
2. グループ共通電話一覧

3. 企業共通電話一覧

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 個人用アドレス帳
2. SIP ヘッダー
3. コール履歴
4. BroadSoft (XSI) ディレクトリ
5. LDAP ディレクトリ
6. XML ディレクトリ



(注) 電話機は次の形式を使用して XML ディレクトリを検索します。

```
directory_url?n=incoming_call_number
```

例：サードパーティ製サービスを使用するマルチプラットフォーム フォンの場合、電話番号 (1234) の検索クエリの形式は次のとおりです。

```
http://your-service.com/dir.xml?n=1234
```

始める前に

- 名前の逆引きルックアップを有効化または無効化するには、以下のいずれかのディレクトリを設定します。
 - BroadSoft (XSI) ディレクトリ
 - LDAP 社内ディレクトリ
 - XML ディレクトリ
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 補足サービスエリアで、電話機の逆引きルックアップサービスを はい (Yes) に設定して、この機能を有効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Reverse_Phone_Lookup_Serv ua="na">Yes</Reverse_Phone_Lookup_Serv>
```

使用できる値は Yes/No です。デフォルト値は [はい (Yes)] です。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

緊急コール

緊急通報のサポート バックグラウンド

緊急通報サービス プロバイダーは、会社の各 IP ベースの電話機のロケーションを登録できません。ロケーション情報サーバ (LIS) は、緊急応答ロケーション (ERL) を電話機に転送します。電話機は再起動した後、およびユーザが電話機にサインインしたとき、登録時にそのロケーションを保存します。ロケーション エントリでは、番地、建物番号、階、室、およびオフィスのその他のロケーション情報を指定することができます。

緊急通報すると、電話機はロケーションをコールサーバに転送します。コールサーバは、コールとロケーションを緊急通報サービス プロバイダーに転送します。緊急通報サービス プロバイダーは、コールと一意のコールバック番号 (ELIN) を緊急サービスに転送します。緊急サービスまたは公安応答局 (PSAP) は、電話機のロケーションを受け取ります。PSAP は、コールが切断された場合、コールバックする番号も受け取ります。

電話機からの緊急通報の説明に使用される用語については、[緊急通報のサポート用語 \(36ページ\)](#) を参照してください。

内線番号の電話機のロケーションを取得するには、次のパラメータを挿入します。

- [会社ID (Company Identifier)] : NG9-1-1 サービス プロバイダーによって会社に割り当てられた一意の番号 (UUID) 。
- [プライマリリクエスト URL (Primary Request URL)] : 電話機のロケーションを取得するために使用されるプライマリ サーバの HTTPS アドレス。
- [セカンダリリクエスト URL (Secondary Request URL)] : 電話機のロケーションを取得するために使用されるセカンダリ サーバ (バックアップ) の HTTPS アドレス。
- [緊急番号 (Emergency Number)] : 緊急通報を特定する数字シーケンス。各緊急番号をコンマで区切るにより、複数の緊急番号を指定することができます。

一般的な緊急サービス番号は次のとおりです。

- 北米 : 911
- 欧州諸国 : 112
- 香港 : 999

電話機は、次の活動が発生すると、新しいロケーション情報をリクエストします。

- 電話機をコールサーバに登録する。

- ユーザが電話機を再起動する（電話機が以前、コールサーバに登録されている場合）。
- ゲストが電話機にサインインする。
- SIP 登録で使用するネットワーク インターフェイスを変更する（たとえば、Wi-Fi をイーサネットに変更する場合）。
- 電話機の IP アドレスを変更する。

すべてのロケーションサーバがロケーション応答を送信しない場合、電話機は、ロケーションリクエストを2分ごとに再送信します。

緊急通報のサポート用語

Cisco マルチプラットフォーム フォンの緊急通報のサポートに関する用語を次に説明します。

- 緊急ロケーション識別番号 (ELIN) : 1台以上の内線電話を表すために使用する番号であり、緊急サービスにダイヤルしたユーザを識別します。
- 緊急応答ロケーション (ERL) : 一連の内線電話をグループ化した論理ロケーション。
- HTTP対応ロケーション配信 (HELD) : ロケーション情報サーバ (LIS) から電話機の PIDF-LO ロケーションを取得する暗号化されたプロトコル。
- ロケーション情報サーバ (LIS) : SIP ベースの電話機の HELD リクエストに回答し、HELD XML 応答を使用して電話機のロケーションを提供するサーバ。
- 緊急通報サービス プロバイダー : 電話機のロケーションを使用して電話機の HELD リクエストに回答する会社。緊急通報（電話機のロケーションを伝送する）をかけると、コールサーバが通報をこの会社に転送します。緊急通報サービス プロバイダーは、ELIN を追加して、通報を緊急サービス (PSAP) に転送します。通話が切断された場合、PSAP は ELIN を使用して、緊急通報をかけるのに使用された電話機に再接続します。
- 緊急応答機関 (PSAP) : 緊急サービス IP ネットワークに参加している緊急サービス（たとえば、消防署、警察、救急車など）。
- 汎用一意識別子 (UUID) : 緊急通報サポートを使用して会社を一意に識別するために使用される 128 ビットの数値。

緊急通報を発信するための電話機の設定

始める前に

- 緊急通報サービス プロバイダーから電話用の E911 地理位置情報構成 URL と会社識別子を取得します。同じオフィス内で複数の電話機の内線について、同じ地理位置情報 URL と会社識別子を使用できます。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。ここでは、 n は電話機のウェブダイアログの内線番号 (1~10) です。
- ステップ2 ダイアルプラン セクションで、緊急番号パラメータを設定します。
- ステップ3 E911 地理位置情報設定 セクションで、緊急電話用パラメータ (37 ページ) で説明されているように、会社 UUID、プライマリ要求 URL、およびセカンダリ要求 URL パラメータを設定します。
- ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

緊急電話用パラメータ

次の表では、電話機のウェブインターフェイスの内線 (n) タブの下にあるダイアルプランおよび E911 地理位置情報設定セクションにおける、緊急電話パラメータを作成する機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 9: 緊急電話用パラメータ





パラメータ	説明
セクション: ダイアルプラン	

パラメータ	説明
<p>[緊急番号 (Emergency Number)]</p>	<p>緊急番号のカンマ区切りのリストを入力します。</p> <p>複数の緊急電話番号を指定するには、それぞれの緊急電話番号をカンマで区切ります。</p> <p>このいずれかの番号がダイヤルされると、ユニットの CONF、HOLD、および他の同様のソフトキーやボタンの処理が無効になり、現在のコールが誤って保留にされるのを防ぎます。また、電話機ではフックフラッシュイベント処理も無効になります。</p> <p>緊急通報を終了できるのは相手先だけです。コールが終了されてレシーバがオンフックの状態に戻されると、電話機は通常の状態に復元されます。</p> <p>顧客緊急サービス番号に対応する数字に対して、次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Emergency_Number_1_ ua="na"/></pre> 電話のウェブページで、緊急番号パラメータを、顧客緊急サービス番号に対応する数字に設定します。 <p>有効値：最大 63 文字を入力できます。 デフォルト：空白（緊急番号なし）</p>
<p>セクション：E911 地理位置情報設置</p>	
<p>[会社のUUID (Company UUID)]</p>	<p>緊急通報サービスプロバイダーがお客様に割り当てる汎用一意識別子 (UUID)。</p> <p>次に例を示します。</p> <p>07072db6-2dd5-4aa1-b2ff-6d588822dd46</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Company_UUID_1_ ua="na"/></pre> 電話機のウェブページで、通話サービスプロバイダーによって割り当てられた有効な識別子を入力します。 <p>有効値：識別子は最大128文字です。 デフォルト：空白</p>

パラメータ	説明
<p>[プライマリリクエストURL (Primary Request URL)]</p>	<p>暗号化された HTTPS 電話機ロケーションリクエスト。このリクエストでは、電話機の IP アドレス、MAC アドレス、ネットワーク アクセス識別子 (NAI) 、ネットワーク スイッチ メーカーが割り当てたシャーシIDおよびポートIDが使用されます。このリクエストには、ロケーションサーバ名とカスタマー ID も含まれます。</p> <p>緊急通報サービスプロバイダーが使用するサーバは、ユーザの電話機の IP アドレスに関連付けられているロケーション Uniform Resource Identifier (URI) を保持している緊急応答ロケーション (ERL) を使用して応答します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="857 835 1284 863"><Primary_Request_URL_1_ ua="na"/></pre> <ul style="list-style-type: none"> 電話機のウェブページで、暗号化された HTTPS 電話機ロケーションリクエストを入力します。 <p>次に例を示します。</p> <pre data-bbox="857 1010 1565 1037">https://prod.blueearth.com/e911Locate/held/held_request.action</pre> <p>デフォルト：空白</p>
<p>[セカンダリリクエストURL (Secondary Request URL)]</p>	<p>ユーザの電話機のロケーションを取得するために、緊急通報サービスプロバイダーのバックアップサーバに送信される暗号化された HTTPS リクエスト。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="857 1402 1308 1430"><Secondary_Request_URL_1_ ua="na"/></pre> <ul style="list-style-type: none"> 電話機のウェブページで、ロケーション情報を返送することができるバックアップサーバの暗号化を入力します。 <p>次に例を示します。</p> <pre data-bbox="857 1577 1565 1604">https://prod2.blueearth.com/e911Locate/held/held_request.action</pre> <p>デフォルト：空白</p>

着信 Webex コールのスパムの表示

Webex 環境での着信通話に対するスパムの表示をサポートするために、サーバーは X-Cisco-CallerId-Disposition 処理情報を電話機に送信します。電話機は、この情報を認証アイコンとして変換します。発信者の STIR/SHAKEN 検証結果に基づいて、電話機に3種類のアイコンが表示されます。コールセッションの発信者 ID、ローカル通話ログ、Webex クラウド通話ログの横にアイコンが表示されます。

- 検証済みコール：サーバーは処理情報 X-Cisco-CallerId-Disposition=valid を電話機に送信します。電話機には、発信者 ID の横に追加のアイコン  が表示され、検証済み発信者を示すカラー画面が表示されます。グレースケール画面の電話機では、発信者 ID の横に追加のアイコン  が表示されます。
- 無効なコールまたは迷惑呼：サーバーは処理情報 X-Cisco-CallerId-Disposition=invalid を電話機に送信します。電話機には、発信者 ID の横に、不正な発信者を示す追加のアイコン  が表示されます。
- 検証されていないコール：サーバーは処理情報 X-Cisco-CallerId-Disposition=unverified を電話機に送信します。電話機には、発信者 ID の横に、確認されていないコールを示す追加のアイコン  が表示されます。

処理情報がない場合、電話機には以前と同じアイコンが表示されます。

特定のラインキーにコールパークを追加する

特定のラインキーにコールパーク機能を追加して、ボタンを1つだけ使用して、通話をパークまたはパーク解除することができます。

始める前に

- 電話管理のウェブページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [Att コンソール (Att Console)] > [全般 (General)] を選択します。

ステップ 2 パラメータ [ラインキー有効化で BLF コールパーク (BLF Callpark On Line Key Enable)] で [はい (Yes)] を選択します。

機能を無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<BLF_Callpark_On_Line_Key_Enable ua="na">Yes</BLF_Callpark_On_Line_Key_Enable>
```

デフォルト：いいえ(No)

ステップ 3 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] の順に移動して、ラインキーを選択します。

ステップ 4 (オプション) 内線を無効にするには、[内線 (Extension)] パラメータを [無効 (Disabled)] に設定します。

(注) 直接 PLK 設定機能を無効にした場合、ラインキーに拡張機能を追加するために内線を無効にする必要があります。詳細については、『アドミニストレーションガイド』の「直接 PLK 設定を有効にする」の項を参照してください。

ステップ 5 [拡張機能 (Extended Function)] フィールドに、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=prk;sub=BLF_List_URI@$PROXY;usr=user_ID@$PROXY
```

それぞれの説明は次のとおりです。

- sub : SUBSCRIBE メッセージの送付先の URI です。この名前は、BLF リスト URI で定義された名前と同一である必要があります。
- usr : BLF が監視するコールパーク拡張。

ステップ 6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

プログラム可能なソフトキーの設定

プログラム可能なソフトキー

キーワード	キーラベル	定義	利用可能な電話ステータス
acd_login	Agt サインイン	ユーザが自動着信呼分配 (ACD) にログインします。	アイドル
acd_logout	Agt サインアウト	ユーザが ACD からログアウトします。	アイドル
answer	応答	着信コールに応答します。	呼び出し中 (Ringing)
astate	Agt ステータス	ACD ステータスを確認します。	アイドル
avail	Avail	ACDサーバにログインしているユーザが自分のステータスを応対可能に設定していることを示します。	アイドル

キーワード	キー ラベル	定義	利用可能な電話ステータス
barge	割り込み	他のユーザーが共有コールに割り込めるようにします。	共有アクティブ、共有保留
bargesilent	バージ無音	他のユーザがマイクは使用できない状態で共有コールに割り込めるようにします。	共有アクティブ
bxfer	ブラインド転送	ブラインド 通話転送（コールの転送先の相手と話さずにコールを転送する）を実行します。ブラインド転送サービスが有効になっている必要があります。	接続されている状態
call (または dial)	コール	リスト内の選択した項目に発信します。	ダイヤリング入力
call info	Call Info	通話情報を表示します。	進行中
cancel	キャンセル (Cancel)	コールをキャンセルします（電話会議の開催時に相手が応答しなかったときなど）。	オフフック
cfwd	転送/Clr 転送	すべてのコールを指定された番号に転送します。	アイドル、オフフック、共有アクティブ、保留、共有保留
crdpause	[録音一時停止 (PauseRec)]	録音を一時停止します。	接続済み、会議
crdresume	[録音再開 (ResumeRec)]	録音を再開します。	接続済み、会議
crdstart	録音	録音を開始します。	接続済み、会議
crdstop	[録音停止 (StopRec)]	記録の停止	接続済み、会議
conf	会議	会議通話を開始します。会議サーバが有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続されている状態
confLx	会議回線	電話機の会議アクティブ回線。会議サーバが有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続されている状態

キーワード	キー ラベル	定義	利用可能な電話ステータス
delchar	delChar : バックスペース アイコン	テキストの入力中に文字を削除します。	ダイヤリング入力
dir	Dir	電話帳へのアクセスを提供します。	アイドル、不在、オフフック (入力なし)、接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留、呼び出し中、共有アクティブ、共有保留
disp_code	廃棄コード	廃棄コードを入力します。	アイドル、接続済み、会議、保留
dnd	DND / Clr Dnd	応答不可を設定して着信時に電話機が鳴らないようにします。	アイドル、オフフック、保留、共有アクティブ、共有保留、会議、会議開始、転送開始
emergency	緊急 (Emergency)	緊急番号を入力します。	接続されている状態
em_login (または signin)	サインイン	ユーザがエクステンション モビリティにログインします。	アイドル
em_logout (または signout)	サインアウト	エクステンション モビリティからユーザをログアウトさせます。	アイドル
endcall	コールの終了	通話を終了します。	接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留
favorites	お気に入り	「短縮ダイヤル」へのアクセスを提供します。	アイドル、不在、オフフック (入力なし)、接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留、呼び出し中、共有アクティブ、共有保留
gpickup	グループ ピックアップ	ユーザが呼び出し中の内線番号を検出することにより、そのコールに回答できるようにします。	アイドル、オフフック
hold	保留 (Hold)	コールを保留にします。	接続済み、転送開始、会議開始、会議
ignore	却下	着信コールを無視します。	呼び出し中 (Ringing)

キーワード	キー ラベル	定義	利用可能な電話ステータス
ignoresilent	無視	着信コールをサイレント状態にします。	呼び出し中 (Ringing)
参加	参加 (Join)	電話会議に接続します。会議のホストがユーザ A で、ユーザ B とユーザ C が参加者である場合、A が [参加 (Join)] を押すと、A は離脱して、ユーザ B とユーザ C が接続されます。	会議
lcr	Call Rtn/lcr	最後の不在着信を返します。	アイドル、不在着信、オフフック (入力なし)
left	左矢印アイコン	カーソルを左に移動します。	ダイヤリング入力
メッセージ	メッセージ	ボイスメールへのアクセスを提供します。	アイドル、不在、オフフック (入力なし)、接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留、呼び出し中、共有アクティブ、共有保留
miss	不在 (Miss)	不在着信のリストを表示します。	不在着信
newcall	発信	新しいコールを開始します。	アイドル、保留、共有アクティブ、共有保留
option	オプション	入力オプションのメニューを開きます。	オフフック
park	パーク	指定された「パーク」番号でコールを保留にします。	接続されている状態
phold	PrivHold	アクティブ共有電話上のコールを保留にします。	接続されている状態
pickup	ピック	別の内線番号で呼出音が鳴っていても、その内線番号を入力してそのコールに応答できます。	アイドル、オフフック
recents	通話履歴	通話履歴からすべてのコールリストを表示します。	アイドル、オフフック、共有アクティブ、共有保留
redial	Redial	リダイヤルリストを表示します。	アイドル、接続済み、会議開始、転送開始、オフフック (入力なし)、保留
resume	復帰	保留中のコールを再開します。	保留、共有保留

キーワード	キー ラベル	定義	利用可能な電話ステータス
right	右矢印アイコン	カーソルを右に移動します。	ダイヤリング (入力)
設定	設定	「情報と設定」へのアクセスを提供します。	すべて (All)
starcode	スターコード/*コードの入力	選択可能なスターコードのリストを表示します。	オフフック、ダイヤリング (入力)
トレース	トレース	トレースをトリガーします。	アイドル、接続済み、会議、保留
unavail	応対不可	ACDサーバにログインしているユーザが自分のステータスを応対不可に設定していることを示します。	アイドル
unpark	パーク解除	パークされたコールを再開します。	アイドル、オフフック、接続済み、共有アクティブ
xfer	転送	通話転送を実行します。在席転送サービスが有効になっており、少なくとも1つの接続済みコールと1つのアイドルコールが存在する必要があります。	接続済み、転送開始、会議開始
xferlx	転送回線	電話機上のアクティブ回線を着信者番号に転送します。在席転送サービスが有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続されている状態

ソフトキーのディスプレイのカスタマイズ

特定の状態にある電話画面のソフトキーの表示をカスタマイズできます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[プログラム可能なソフトキーのパラメータ \(46 ページ\)](#)の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

- ステップ1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ2 プログラム可能なソフトキーセクションで、ソフトキーを表示する通話状態に応じてソフトキーを編集します。詳細については、[プログラム可能なソフトキーのパラメータ \(46 ページ\)](#) および を参照してください。
- ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

プログラム可能なソフトキーのパラメータ

次の表で、電話機のウェブインターフェイスの [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] タブの下にある [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションにおける、プログラム可能なソフトキーパラメータの機能と使用方法を定義します。また、パラメータを設定するために、XML コードを使用した電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 10: プログラム可能なソフトキーのパラメータ

パラメータ	説明とデフォルト値
[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)]	<p>プログラム可能なソフトキーを有効または無効にします。このフィールドを [はい (Yes)] に設定すると、プログラム可能なソフトキーが有効になります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Programmable_Softkey_Enable ua="na">Yes</Programmable_Softkey_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドを [はい (Yes)] または [いいえ (no)] に設定し、プログラム可能なソフトキーを有効または無効にします <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No)</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明とデフォルト値
[PSK 1] ~ [PSK 16]	<p>プログラム可能なソフトキーフィールド。これらのフィールドに文字列を入力して、電話画面に表示されるソフトキーを設定します。番号または内線番号の短縮ダイヤル、特定業種向けサービスのアクティベーションコード（*コード）、またはXMLスクリプト用にソフトキーを作成できます。</p> <p>次の形式で、PSK を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル <code>fnc=sd;ext=extension_number@\$PROXY;vid=n;nme=display_name</code> 特定業種向けサービス アクティベーション コード <code>fnc=sd;ext=star_code@\$PROXY;vid=n;nme=display_name</code> 特定業種向けサービス アクティベーション コードを参照してください。 XML サービス <code>fnc=xml;url=http://server_IP/services.xml;vid=n;nme=display_name</code> <p>ソフトキーリストに、アイドルキーリスト、不在着信キーリストなどのプログラム可能なソフトキーを追加すると、プログラム可能なソフトキーが電話画面に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <code><PSK_1 ua="na">fnc=xml;url=http://server_IP/services.xml;vid=n;nme=display_name</PSK_1></code> 電話機のウェブインターフェイスで、有効な形式で PSK を設定します。 <p>デフォルト：空</p>

プログラム可能なソフトキーをカスタマイズする

電話機には16個のプログラム可能なソフトキーが用意されています（[PSK1（PSK1）]フィールドから[PSK16（PSK16）]フィールドまで）。短縮ダイヤルスクリプトでこのフィールドを定義できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ2** [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。
- ステップ3** 電話機の機能を設定するプログラム可能なソフトキーの数値フィールドを選択します。
- ステップ4** プログラム可能なソフトキーの文字列を入力します。 [プログラム可能なソフトキーの短縮ダイヤルの設定 \(48ページ\)](#) で説明されている、さまざまなタイプのプログラム可能なソフトキーを参照してください。
- ステップ5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

プログラム可能なソフトキーの短縮ダイヤルの設定

プログラム可能なソフトキーを短縮ダイヤルとして設定できます。短縮ダイヤルには内線番号または電話番号を指定することができます。特定業種向けサービス アクティベーション コード (またはスター [*] コード) で定義されたアクションを実行する短縮ダイヤルを使用して、プログラム可能なソフトキーを設定することもできます。たとえば、短縮ダイヤルの *67 を使用してプログラム可能なソフトキーを設定した場合、コールは保留されます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ2** [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。
- ステップ3** PSK の短縮ダイヤルを設定するには、PSK の [番号 (number)] フィールドに次のように入力します。

```
fnc=sd;ext=extensionname/starcode@$PROXY;vid=n;nme=name
```

ここで、

- fnc = キーの機能 (短縮ダイヤル)
- extensionname = ダイヤルされている内線番号または実行するスター コード アクション
- vid = n は短縮ダイヤルがダイヤルアウトする内線番号
- name は設定されている短縮ダイヤルの名前

(注) [名前 (name)]フィールドが IP フォンの画面上のソフトキーに表示されます。 電話機 1 台につき最大 10 文字をお勧めします。 それ以上の文字を使用している場合、ラベルは電話機の画面上で切り捨てられる可能性があります。

ステップ 4 次を編集します。

- [アイドルキーリスト (Idle Key List)] : 次の例に示すようにフィールドを編集します。

```
redial|1;newcall|2;dnd;psk1
```

ユーザが電話機に設定したプログラム可能なソフトキーリスト機能が正しくない場合、電話機の LCD のキー リストは更新されません。 次に例を示します。

- ユーザが **rdeial;newcall;cfwd** と入力した場合 (redial のスペルが不正) 、キーリストは更新されず、LCD に変更が表示されません。
- ユーザが **redial;newcall;cfwd;delchar** と入力した場合、delchar ソフトキーが [アイドルキーリスト (Idle Key List)]で許可されていないため、LCD に変更が表示されません。 したがって、これはプログラム可能なソフトキー リストの不正な設定です。

- **PSK1** :

```
fnc=sd;ext=5014@$PROXY;nme=sktest1
```

(注) この例では、内線番号 5014 (sktest1) の短縮ダイヤル番号として電話機にソフトキーを設定します。

プログラム可能なソフトキーに XML サービスを設定することもできます。 次の形式で文字列を入力します。

```
<PSK_1 ua="na">fnc=xml;url=http://xml.service.url;nme=name</PSK_1>
```

ステップ 5 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

DTMF サポートを使用して PSKを設定する

デュアルトーン多重波数 (DTMF) で、プログラム可能なソフトキー (PSK) を設定することができます。 この設定によって、電話機はアクティブコール中にデジタルパルス (または SIP INFO を介してアウトオブバンド) をサーバに送信することができます。 PSK である機能を有効にすると、ユーザーにはソフトキー名が表示され、それを押すことによって名前付きの機能を実行することができます。 DTMF 数字文字列に適用されるアクションは、以下のようにスピードダイヤルに適用されるアクションと同様です。

- 一時停止は、よって表される、
- X によって表されるまで待機

たとえば、ext=<DTMF_DIGITS>[[,|X][<DTMF_DIGITS>]]、ここで有効な DTMF 桁は 0-9、*、#、a、b、c、d で、[] 括弧内の部分はオプションです。

この機能は、プログラム可能なソフトキーにのみ適用されます。デスクフォンでのプログラム可能なラインキー (PLK) には適用されません。この機能の PLK を設定すると、表示に丸で囲まれた X アイコン (ⓧ) が表示され、キーを押しても何も起こりません。

この機能では、接続されたキーリストと接続されたビデオキーリストのみがサポートされます。

始める前に

[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)。

手順

ステップ 1 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキーを選択します。

ステップ 2 プログラム可能なソフトキー有効フィールドを [はい (yes)] に設定します。

ステップ 3 PSK リスト (PSK#1 - PSK#16) から、設定する 1 つの PSK を選択します。

ステップ 4 **PSK (n)** フィールドで、**n** がプログラム可能なソフトキー番号である場合、文字列を次の形式で入力します。

```
fnc=dtmf;ext=<dtmf_digits_to_be_outpulsed>;nme=<softkey_display_name>;
vid=<extension_n_to_be_associated>
```

電話機に複数の登録済み回線がある場合、ソフトキーを表示させるために、特定の回線/内線番号に関連付けられている **vid=** を含める必要があります。それ以外の場合、ソフトキーは表示されません。

ステップ 5 (オプション) **PSK** ソフトキーを押すたびにペア内で切り替わるように (アウトパルス表示) 設定するには、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=dtmf;ext=<dtmf_digits_to_be_outpulsed>;nme=<softkey_display_name>;
ext2=<second_set_of_dtmf_digits_to_be_outpulsed>;nme2=<second_softkey_display_name_after_first_press>;
vid=<extension_n_to_be_associated>
```

PSK ソフトキーの切り替えは常に、新しい通話のたびに **ext/nme** から開始されます。

ステップ 6 接続されたキーリストフィールドまたは接続されたビデオキーリストフィールドで、電話画面上のソフトキー名を表示したい場所に応じて、設定されている **PSK** キーワードを入力します。

例えば、次のエントリでは、**保留** ソフトキー名が最初の位置に表示されます。[**Psk1**] フィールドにリストされているソフトキー名は、2 番目の位置に表示されます。以下同様になります。

```
hold;psk1;endcall;xfer;conf;xferLx;confLx;bxfer;phold;redial;dir;park
```

ステップ 7 **n** が設定する内線番号である場合、[音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。

ステップ 8 オーディオ設定 セクションで、**DTMF Tx** メソッドをドロップダウンリストから次のいずれかの方法に設定します。

- インバンド (In-Band)
- AvT
- 情報

- 自動
- InBand + INFO
- AVT + INFO

ステップ 9 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

次の例を参照して、DTMF サポートオプションを使用して PSK を設定する方法を理解してください。

例: PSK は押されたときに切り替わります。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー > プログラム可能なソフトキー有効: はい
- 接続されているキーリスト: `psk1|1 ;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- **PSK 1: fnc=dtmf;ext=#1;nme=PressStart;ext2=*2;nme2=PressStop;vid=1**
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

例: 電話機は、PSK のソフトキーを使用して DTMF 数字のインバンドを送信します。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー
- プログラム可能なソフトキー有効: はい。
- 接続されているキーリスト: `psk1|1;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- **PSK 1: fnc=dtmf;ext=#1;nme=PressMe;vid=1**
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

例: PSK ソフトは数字の間で一時停止します。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー > プログラム可能なソフトキー有効: はい
- 接続されているキーリスト: `psk1|1;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- **PSK 1: fnc=dtmf;ext=#1,1006;nme=PressMe;vid=1**
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

例: PSK ソフトキーは、ユーザーの数字入力を待機します。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー > プログラム可能なソフトキー有効: はい
- 接続されているキーリスト: `psk1|1;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- **PSK 1: fnc=dtmf;ext=#1X1006;nme=PressMe;vid=1**
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

通話履歴リストメニューへのソフトキーの有効化

すべての通話、着信、受信、および不在着信のリストに対して、**オプション**、**通話**、**通話の編集**、**フィルタ**、および**バックソフトキー**を画面で設定できます。電話機の**[通話履歴]**ソフトキーを押すと、**[すべての通話]**画面に直接アクセスして、すべての種類の最近の通話のリストを表示できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声 (Voice)] > [電話 (Phone)]** を選択します。

ステップ 2 **XSI** ホストサーバ、**XSI** 認証タイプ、**ログインユーザー ID**、**ログインパスワード**、および **CallLog 関連回線** パラメータに値を指定して、**XSI** アカウント情報を設定します。

XSI アカウントの設定については、[BroadSoft 設定の構成](#)を参照してください。

ステップ 3 **CallLog** 有効パラメータを **[はい]** に設定します。

ステップ 4 **[通話履歴]** を **[サーバ]** に設定します。

ステップ 5 **[プログラム可能なソフトキー]** セクションで、

- [プログラム可能なソフトキーの有効]** パラメータを **[はい]** に設定します。
- [Broadsoft 通話履歴キー リスト]** フィールドで、デフォルトの文字列は `option|1;call|2;editcall|3;back|4;` です。

サポートされる文字列は、**オプション**、**通話**、**通話の編集**、**フィルタ処理**、および**戻る**です。このパラメータは `psk` 文字列をサポートされていません。

すべて、着信、受信、不在着信リストまたはこれらの通話リストの**オプション**メニューでこれらすべてのソフトキーを使用できるかどうかは、次の条件によって異なります。

- プログラム可能なソフトキー有効 = はい、**Broadsoft 通話履歴キー リスト** = `option|1;call|2;filter|3;back|4;` — **オプション**、**通話**、**フィルタ処理**、**戻る**のソフトキーがすべて、着信、受信、不在着信リストに表示されます。**通話の編集**は通話リストの**オプション**メニューに表示されます。
- プログラム可能なソフトキー有効 = はい、**Broadsoft 通話履歴キー リスト** = `option|1;call|2;back|4;` — **オプション**、**通話**、**戻る**のソフトキーがすべて、着信、受信、不在着信リストに表示されます。**通話の編集**と**フィルタ処理**は通話リストの**オプション**メニューに表示されます。

- プログラム可能なソフトキー有効 = はい、Broadsoft 通話履歴キー リスト = `option|1;call|2;editcall|3;filter|4`; オプション、通話、通話の編集、フィルタ処理のソフトキーがすべて、着信、受信、不在着信リストに表示されます。
- プログラム可能なソフトキー有効 = はい、PSK1 = `fnc=shortcut;url=misssedcalls`、および Broadsoft 通話履歴キー リスト = `option|1;call|2;psk1|3;filter222|4`; - 文字列オプションと通話ソフトキーのみ、すべて、着信、受信、不在着信リストに表示されます。文字列 `psk` と `filter222` が無効な値であるためです。通話の編集とフィルタ処理は通話リストのオプションメニューに表示されます。
- [プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] = [はい (Yes)]、および [Broadsoft 通話履歴キーリスト (Broadsoft Call History Key List)] = 空白 - ソフトキーは、デフォルト設定 `option|1;call|2;editcall|3` として表示されます。オプション、通話、通話の編集ソフトキーが、すべて、着信、受信、不在着信リストに表示されます。通話リストの [オプション] メニューにフィルタが表示されます。

(注) XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。

```
<Broadsoft_Call_History_Key_List  
ua="na">option|1;call|2;editcall|3</Broadsoft_Call_History_Key_List>
```





ステップ 6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

着信通話のスパムの表示

新しい技術標準のセキュアテレフォニーアイデンティティ (STIR) と、toKEN (SHAKEN) を使用した主張された情報の署名ベースの処理。これらの標準規格では、IP ネットワークを通じて着信コールを認証し、発信者 ID を確認する手順を定義します。STIR-SHAKEN フレームワークは、エンドユーザが受信する通話の種類を高度に識別および制御できるようにするために開発されました。これらの標準セットは、コールの検証、コールの分類、発信者の識別情報の信頼をエンドツーエンドで容易にする基盤を提供することを目的としています。不正な発信者は簡単に特定できます。

サーバ上で STIR/SKAKEN のサポートが実装されている場合、電話機は発信者の STIR/SKAKEN 検証結果に基づいて、発信者 ID の横に追加のアイコンを表示します。検証結果に基づいて、電話機に 3 種類のアイコンが表示されます。これは、ロボコールからの通話に回答する時間と、スプーフィングまたは改ざんされた発信者 ID を持つ発信者からのセキュリティリスクを軽減するのに役立ちます。



- (注)
- 検証済みコール：発信者が SIP ヘッダー PAID または FROM で `verstat=TN-Validate-Passed` を実行すると、発信者 ID の横にある追加のアイコン  が検証済み発信者を示す色画面で電話機に表示されます。グレースケール画面の電話機では、発信者 ID の横に追加のアイコン  が表示されます。
 - 迷惑呼：発信者が SIP ヘッダー PAID または FROM で `verstat=TN-Validation-Failed` を実行すると、発信者 ID の横にある不正な発信者を示す追加のアイコン  が電話に表示されます。
 - 検証されていないコール：発信者が SIP ヘッダー PAID または FROM で `verstat=NO-TN-Validation` 検証を実行すると、発信者 ID の横に追加のアイコン  が検証されていないコールを示す電話に表示されます。

Webex 環境での通話に対するスパムの通知の詳細については、[着信 Webex コールのスパムの表示 \(40 ページ\)](#) を参照してください。

参加者ソフトキーの追加

[参加者 (Participants)] ソフトキーを電話機に追加できます。ホストまたは参加者はこのソフトキーを押して、アドホック会議に参加した参加者のリストを表示できます。

アドホック会議のホストの場合、電話がコール情報をサブスクライブし、サーバから送信された NOTIFY のリストを受信すると、[参加者 (Participants)] ソフトキーを電話でいつでも選択できるようになります。[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] が有効または無効の場合、このソフトキーはホストでいつでも使用できます。

始める前に

- 電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、

- [プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] パラメータを [はい (Yes)] に設定します。

2. [接続済みミーティングキーリスト (Connected Meeting Key List)] フィールドに、**adhocparticipants** キーワード文字列を追加します。
3. [保留キーリスト (Hold Key List)] フィールドに、**adhocparticipants** キーワード文字列を追加します。

[参加者 (Participants)] ソフトキーがアドホック会議中に表示されます。

(注) 参加者の [プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] パラメータを [いいえ (No)] に設定すると、リストをサーから受信した場合にいつでも [参加者 (Participants)] ソフトキーが選択可能になります。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

特定のラインキーにコールパークを追加する

特定のラインキーにコールパーク機能を追加して、ボタンを1つだけ使用して、通話をパークまたはパーク解除することができます。

始める前に

- 電話管理のウェブページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [Att コンソール (Att Console)] > [全般 (General)] を選択します。

ステップ2 パラメータ [ラインキー有効化で BLF コールパーク (BLF Callpark On Line Key Enable)] で [はい (Yes)] を選択します。

機能を無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<BLF_Callpark_On_Line_Key_Enable ua="na">Yes</BLF_Callpark_On_Line_Key_Enable>
```

デフォルト：いいえ(No)

ステップ3 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] の順に移動して、ラインキーを選択します。

ステップ4 (オプション) 内線を無効にするには、[内線 (Extension)] パラメータを [無効 (Disabled)] に設定します。

(注) 直接 PLK 設定機能を無効にした場合、ラインキーに拡張機能を追加するために内線を無効にする必要があります。詳細については、『アドミニストレーションガイド』の「直接 PLK 設定を有効にする」の項を参照してください。

ステップ5 [拡張機能 (Extended Function)] フィールドに、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=prk;sub=BLF_List_URI@$PROXY;usr=user_ID@$PROXY
```

それぞれの説明は次のとおりです。

- sub : SUBSCRIBE メッセージの送付先の URI です。この名前は、BLF リスト URI で定義された名前と同一である必要があります。
- usr : BLF が監視するコールパーク拡張。

ステップ6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

自動グループコールピックアップ通知を有効にする

自動グループコールピックアップ通知を有効にするには、次の操作を行います。

始める前に

- 電話管理のウェブページにアクセスする必要があります。

手順

ステップ1 電話管理のウェブページにアクセスします。

ステップ2 [音声 (Voice)] > [内線番号 (Extn)] > [XSI回線サービス (XSI Line Service)] を選択します。

ステップ3 パラメータ [ユーザー ExternalID (User ExternalID)] に [はい (Yes)] を選択します。

機能を無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<User_ExternalID_1_ ua="na">Yes</User_ExternalID_1_ ua>
```

デフォルト : いいえ (No)

ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。